

にぎやかな記念祭に向けて

参拝には公共交通機関の利用を

いよいよ今月 23 日、本愛大教会の創立 110 周年記念祭が執行される。大教会では一人でも多くの参加を呼びかけるとともに、各部各係が準備を進めている。ここでは当日の式次第や、注意事項などをまとめて記載する。

大亮様、はるえ様ご臨席

23 日は、午前 10 時に記念祭が執行される。当日は、中山大亮様、はるえ様のご臨席を賜り、祭文奏上に続いて、お言葉を頂戴する。

おつとめ・十二下りのてをどりがつとめられた後、大教会長が挨拶し、式典終了後には「今日を陽気に。大抽選会」が予定されている。シャトル便の利用を

参拝者の受付開始は、午前 8 時から。参拝者には、公共交通機関の利用が呼びかけられている。

このため、大教会では名古屋駅西口（新幹線口）発着の送迎車をシャトル運行する予定（乗り場は下記の



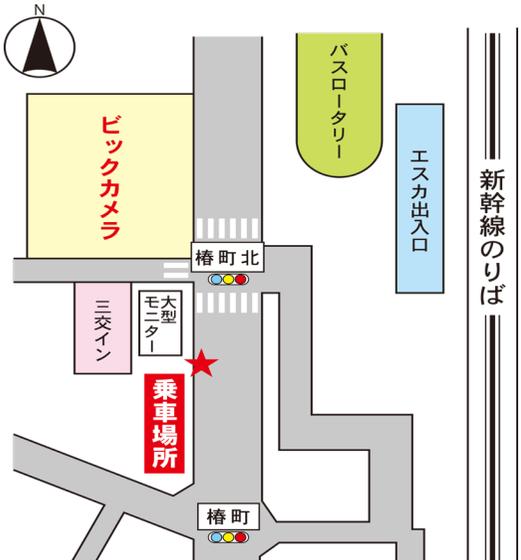
発行
天理教本愛大教会
〒 453-0821
名古屋市中村区大宮町 1-60
TEL (052) 461-4326
MAIL mail@hon-ai.org
〒 632-0071
奈良県天理市田井庄町 19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広報部

年間活動目標
今日を陽気に。
つながる、
つなげる。

のように駐車できないことがあるので注意が必要。当日の駐車場利用は、事前申込の上で、あらかじめ指示された駐車場を利用する必要があります。

地図を参照。午前 8 時半から 10 時半まで、15 分間隔で運行される。また、大教会発の復路便は、午後 1 時半から随時運行予定。
なお、大教会の第 1、3 の各駐車場は、シャトル便の乗降場などとして運用される予定で、通常の祭典時

安藤吉人・大教会長は、参拝者に対し、おつとめ・てをどりまなびでの積極的な唱和を促している。記念祭には一人でも多くが足を運び、陽気なおつとめを親神様・教祖にご覧いただけるよう、共につとめさせていただきます。



【シャトル便 運行時刻】
行き 午前 8:30 から 10:30 まで 15 分間隔で運行
帰り 午後 1 時半から随時運行

入社祭	1 日	午前 10 時
よふき会例会	2 日	午前 10 時
月次祭	13 日	午前 10 時
布教実修所	14 日	午前 10 時
むつみ会例会	16 日	午前 10 時
こども食堂 M O G U	17 日	午後 5 時
婦人会例会	20 日	午前 10 時
こはる会例会	22 日	午前 10 時
本愛大教会 創立 110 周年記念祭	23 日	午前 10 時
青年会例会	23 日	午前 10 時
女子青年例会	23 日	午前 10 時
本部月次祭	26 日	午前 9 時
修養科志願者面接 (於・本愛詰所)	26 日	午後 2 時
習字の O K E I K O	26 日	午後 2 時
5 週目を除く毎週木曜日		華水教室

6 月のこよみ

現代に生かす

「用木の道」

文・安藤吉人



私はおぢばへの行き帰りの高速道路などで、通行の妨げになるような落下物を見かけたら、必ず道路センターに連絡するように心がけています。

運転しながら気をつけて見ていると、案外「靴」が落ちてることが多いんです。なぜだろうと以前から疑問だったのですが、先日、おぢばでの年祭に家族で車で向かうことがありました。

私は少し遅れて自分の車に向かったのですが、高速道路に乗ってすぐ、一足の靴が左右そろって落ちていました。道路の端だったので、そのときは道路センターには連絡せず、なんでだ



ろうと疑問に感じただけでした。

その後おぢばで年祭を済ませて名古屋に戻ってきたら、母と妻が話し合っていました。聞くと、「お

義母さんが高速道路で靴を落としたみたい」と。

私はハツとして、あの時の靴だと思いました。

詳しい経緯はこうです。母は出発前に、ダウン症の慶祐に靴を履かせようとした

ましたが、彼が見当たらず、その靴を一旦車の屋根の上に置いたのだそう。母はそれを忘れて出発し、靴は高速道路で加速した勢いで落

ちたらしいのです。

私はその話を聞いて、ようやく高速道路に靴が落ち

ている理由がわかったのでした。その後、道路センターに問い合わせたところ、ちゃんと保管してください

おり、慶祐の靴は無事に戻ってきました。

さて、私が高速道路の落とし物に気をつけるようになったのは、飯降伊蔵先生

の逸話を聞いたことがきっかけでした。

伊蔵先生のお言葉に、このようなものがあります。

「陰徳は、些細なことや、こうすれば後のためになる

人のためになる。この些細なこと

に気をつけられ、陰徳は積まれ、神様は喜んで

くださるのや。人に言われてするのは陰徳ではない。

こうすれば腐らぬ、痛まぬという心が大事や。粗末にしては天の理にかなわん」

(『天の定規』より)

伊蔵先生はお屋敷に通う

中、壊れた橋を見つけては

人知れず補修していたそう

です。その行いが村人の知るところとなつた時「困つたことになつてきたわい」と漏らしたという逸話も残っています。

私はこのお話を知り、現代で自分にできることはと

考え、道路の落とし物に気を配るようになりました。

伊蔵先生は例外的な方で、伊蔵先生がおたすけに行つたという話は史料に見当た

りません。

ただ、教祖は「朝起き、正直、働き」の三つの勅のお話を伊蔵先生にだけお話し

なっています。

これは私の悟りですが、教祖はそれぞれの得意分野

を見分けて、角目を説いておられるのかもしれない。

自分のできることを、得意なことを探して、教えを日々実践することが大切なの

だと思います。

(5月13日神殿講話より)

公式サイトと YouTube をご活用ください!

天理教 本愛 Q 検索

こんなに便利



- 大教会の行事日程を確認
- 本愛誌最新号とバックナンバーをダウンロード
- その他お知らせ

楽しく学ぶ



- 祭典の様子をライブで視聴
- 大教会長の連載動画
- 神殿講話の限定配信

教理随想

言わん言えんの理を探る



今月二十三日に執行される大教会の創立百十周年記念祭は、常日頃から培ってきた報恩感謝の信仰を土台に、一人ひとりのようぼくがたすけ一条に新たな心を定めるべき大切な時句です。

大教会の歴代会長様をはじめ数多先人は、様々な身上事情から神恩に報いる心を定め、たすけ一条に誠を尽くして本愛の礎を固めてきてくださいました。その信仰を受け継ぎ、親神様の廣大無辺なご守護に報いる心で、たすけ一条の日々を歩む姿こそ、本愛ようぼく

の本当の生き方です。

しかし時がたち代を重ねるにつけ、我が身をふり返って、神恩報謝の思いが薄くなっていると感じるならば、先人に申し訳ない限りで、この句に心を引き締め直さなければなりません。原因はいろいろ考えられるでしょう。物が豊かになった、生活が便利になった、一部の病気が医薬で簡単に治るようになった等々。しかし、「世界いちれつをたすけたい」と思召される親神様の真実の思いは、世の中を豊かにしたり、病を治したりすることだけでなく、人間の「心のたすかり」を願っておられるのです。そのお心は昔も今も変わりありません。

現代は、本愛が設立された百十年前とは比較にならないくらい豊かで便利な社会になりました。しかしその一方、昔では考えられない事情や病気で苦しむ姿があとを絶たないのが現状です。そうした人々をたすけ上げると同時に、信仰する我々ようぼくをも真にたすかる道へ導いてやりたいと思っておられるのが親神様で、それゆえに親の思いを、私たちの身近なところに身上や事情という姿で現してくださいさるのです。

ですから私たちは、身近に現れてくる事柄を人間思案だけで考えたり、起きてきた出来事の表面だけで解決しようとするのではなく、厳しい状況を現してまでも

真にたすけようとしてくださる天からのメッセージをしつかりと受けとめる努力を続けてこそ本物のようぼくといえるのです。

◆道を切り拓く熱意

教祖百四十年祭へ向かう三年千日の二年目に、本愛が創立百十周年の年を迎える意味は次のように悟れるのではないのでしょうか。

それは、初代会長様が説き続けられた神恩報謝の信仰をもう一度心に刻み直し、それを信仰のエネルギー源として、ひながたの道をまっすぐ歩んで陽気ぐらしへ飛躍してほしい。これが今の句の親神様と教祖の思召ではないかと思えます。

先人が強い信念で布教に奔走してきたように、周囲へののをいがけとおたすけに励むことがようぼくの使命ですが、世の人々の心には、まだまだ宗教に対する根強い不信感があります。

こうした状況下にあつて、いかにすれば教えを広めることができるのか、どうすれば真にたすかる道を世に伝えられるのかを真剣に考え、布教伝道の道を切り拓く上に苦心と工夫を重ねる情熱が教祖のご恩に報いる道です。そのためには信仰の基本に立ち返って、「か

しもの・かりもの」の教理を心に治め直し、報恩の信仰を形に現しながら、陽気な心で日々を歩む努力が何より重要になるでしょう。さあ、句は到来しました。感染症法による制約もなくなった今日、おちぼの理をいただいで大きく成人が果たせるよう誠の心を寄せ合いまししょう。そして陽気な心で記念祭に参拝し、教祖百四十年祭へ向かう新たな決意を誓い合いまししょう。しんぢつにたすけ一ぢよの心なら なにゆかいでもしかとうけとる

【第114回】

創立百十周年記念祭の句、報恩の心でひながた実践を

本愛団サポーター
大募集



一緒に活動を
盛り上げよう！

上野昭夫氏（大教会役員・
本孝徳分教会前会長）
4月24日に出直された。
享年82歳。同氏は大教会役
員をはじめ、大教会各部の
部長を歴任。教区主事、中
村区支部長を務めた。

お出直し

4月のおさづけの理拝戴者
種田美里（本煥）
重田逸斗（本一心）
4月の初席者
安井笙（本海部）
角田綾菜（本愛福）
矢野聖奈（本愛福）
矢野礼奈（本愛福）
曾景淳（本愛慶心）
黄淑敏（本愛慶心）
藍美娜（本愛慶心）
藍美芳（本愛慶心）
大池優希（本尾愛）

おちばで学び、伏せ込み、信仰の喜びを実感しよう！
第997期 修養科生大募集
《集合・面接》☆日時…6月26日 午後2時 ☆場所…本愛詰所
※6月20日までに神殿事務所へお申し込みください。

本愛大教会
創立110周年記念祭
立教187年 6月23日(日)
2024年

大教会日誌

令和6年4月25日～令和6年5月24日

4月

26日 本部月次祭

29日 全教一斉ひのきしんデー

30日 常任役員会議◇役員会議

12日 常任役員会議

13日 月次祭

祭主・大教会長 扨者・筑紫英一、都築隆道

指図方・安藤正二郎 賛者・津田豊郎、坂倉敏男

◇祭典講話 — 大教会長

5月

1日 入社祭

祭主・大教会長 扨者・山神茂彦、松原悟

指図方・筑紫英一 賛者・山本治行、桑子彰

◇祭典講話—出口雅美

◇大教会長挨拶

青年会例会

14日 布教実修所

16日 むつみ会例会

17日 こども食堂MOGU ミニビュッフェ

20日 婦人会例会

2日 よふき会例会

女子青年例会